



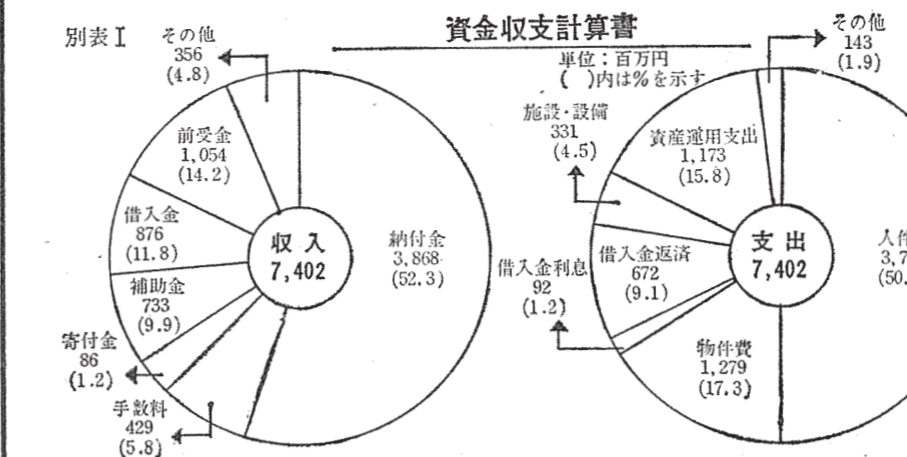
Table with 3 columns: 寄付金, 補助金, 収入合計. Rows include various financial items like '寄付金', '特別寄附', '補助金', etc.

Table with 3 columns: 教育研究費, 経費, 支費. Rows include '教育研究費', '経費', '支費', '旅費', '印刷費', etc.

Table titled '消費支出の部' (Department of Consumption Expenditure) with 4 columns: 科目, 49年度予算額, 48年度予算額, 増減. Rows include '人件費', '教職員報酬', '研究費', etc.

Table titled '消費収支計算書' (Consumption Income and Expenditure Statement) with 4 columns: 科目, 49年度予算額, 48年度予算額, 増減. Rows include '学生・生徒納付金', '授業料', '実習料', etc.

Table titled '消費収支計算書' (Consumption Income and Expenditure Statement) with 4 columns: 科目, 49年度予算額, 48年度予算額, 増減. Rows include '学生・生徒納付金', '授業料', '実習料', etc.



別表I 資金収支計算書. Text explaining the financial statement, including '収入の部' (Income Section) and '支出の部' (Expenditure Section).

別表II 消費収支計算書. Text explaining the consumption income and expenditure statement, including '消費収入の部' (Consumption Income Section) and '消費支出の部' (Consumption Expenditure Section).

Table titled '資金収支計算書' (Financial Income and Expenditure Statement) with 4 columns: 科目, 49年度予算額, 48年度予算額, 増減. Rows include '事業収入', '補助収入', '雑収入', etc.



昭和三十九年度の予算について. Text discussing the budget for the 39th year of Showa, mentioning '昭和三十九年度の予算' and '昭和三十九年度の決算'.

昭和三十九年度の予算について. Text discussing the budget for the 39th year of Showa, mentioning '昭和三十九年度の予算' and '昭和三十九年度の決算'.

Table titled '資金収支計算書' (Financial Income and Expenditure Statement) with 4 columns: 科目, 49年度予算額, 48年度予算額, 増減. Rows include '収入の部', '支出の部', '消費収入の部', etc.

昭和三十九年度の予算について (About the Budget for the 39th Year of Showa)

昭和三十九年度の予算について. Text discussing the budget for the 39th year of Showa, mentioning '昭和三十九年度の予算' and '昭和三十九年度の決算'.

# 昭和48年度「学生生活実態調査」の大略

昭和四十八年度「学生生活実態調査」の集計が、この程度で、近々その報告書が学生部より発表される。それに先立ち、今回その大略を本紙に掲載して一般の参考にして貰う。この報告書は、例年学外においても反響を呼び、各新聞紙上にも報道されている。学生部による学生生活実態調査は、昭和三年に第一回が実施され、三十八年に第二回が、そして四十年以降は毎二年継続して実施されている。とくに四十二年からは、集計に電算機が導入され、分行して設立している。世代的断絶が指摘される今日、とりわけ変動の激しい時局が学生に敏感な影響を与えていると思われる今日、教員と学生の間のコミュニケーションを深めるために、学生調査が行われてきた。この調査の意義は大いなるものがある(松本英樹)

## 調査の概要

①調査の対象方法 昭和四十八年十月一日現在の在学中の学生(学部生、院生、特別生、特別生)を調査対象とした。調査は、学部生に対しては、学年ごとに別別(任意抽出)抽出し、院生は、院別に抽出し、特別生は、特別生に抽出した。調査は、学部生、院生、特別生を別々に実施した。調査期間は、昭和四十八年十一月十七日。

## 重要だが加入が少ない

一部37.7%、二部25%

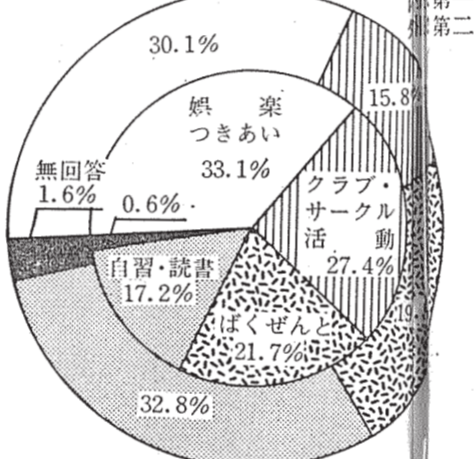


「課外活動」に加入している学生は、第一部37.7%、第二部25%にすぎない。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の減少幅は1.1%、第二部の減少幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の減少幅は1.1%、第二部の減少幅は1.2%に達している。

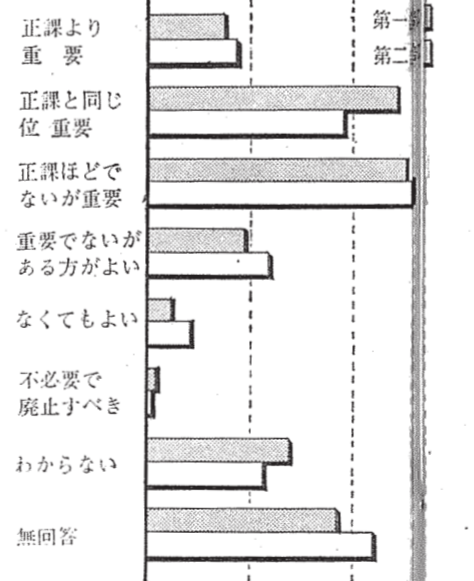
## 課外活動について

「課外活動」に加入している学生は、第一部37.7%、第二部25%にすぎない。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の減少幅は1.1%、第二部の減少幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の減少幅は1.1%、第二部の減少幅は1.2%に達している。

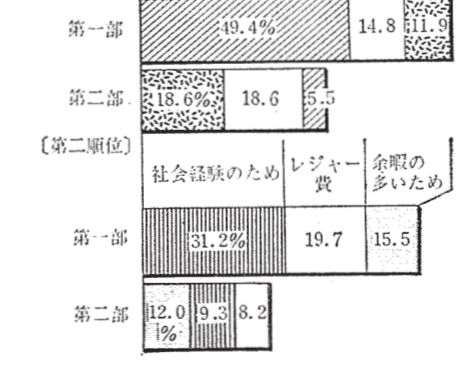
## 学内にいる時間で授業以外に最も多く使うもの



## 課外活動と正課との比較

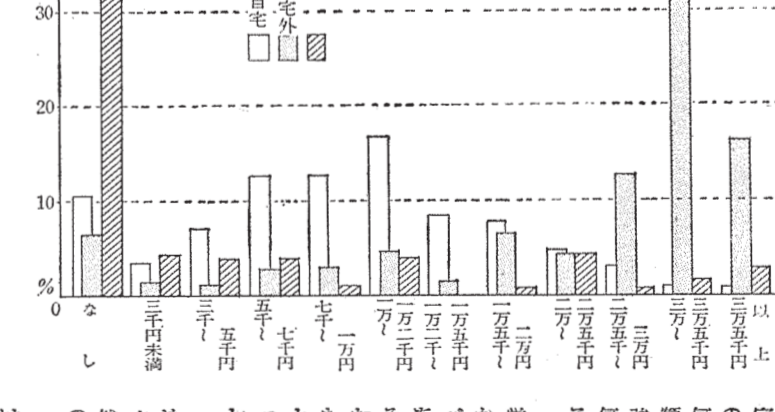


## アルバイトをする主な理由の上位三つ



## 学費仕送りに格差

第1部93%、第2部21%



「アルバイトをする主な理由の上位三つ」は、生活費、学費、余暇のため。生活費は、第一部の49.4%、第二部の18.6%に達している。学費は、第一部の14.8%、第二部の9.3%に達している。余暇のためは、第一部の11.9%、第二部の8.2%に達している。社会経験のためは、第一部の15.5%、第二部の9.3%に達している。その他は、第一部の2.0%、第二部の5.2%に達している。

# 学生指向を敏感に反映

## 「進路と職業」がトップ

### 「異性関係」は女子より男子

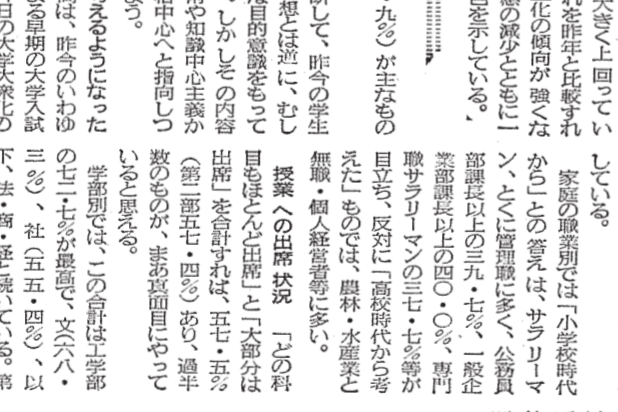
「進路と職業」が最も多く使われる。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

## 「豊かな教養と人格の形成」

### 明確な目的意識をもって進学

「豊かな教養と人格の形成」が最も多く使われる。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

## 大学にどの程度満足しているか

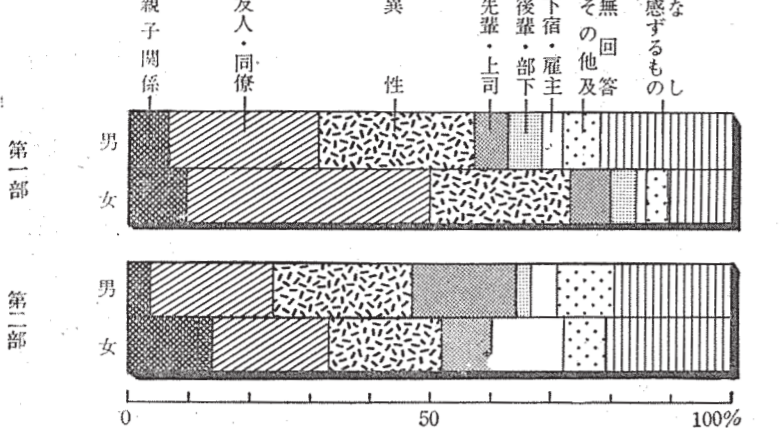


## 満足度にも変化が...

### 勉学の責任意識高まる

「満足度にも変化が...」は、勉学の責任意識が高まる。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

## 対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの



「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

「対人関係で最もむづかしさまたは悩みを感じているもの」は、友人関係。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。これは、昭和四十七年度の調査に比べて、第一部の増加幅は1.1%、第二部の増加幅は1.2%に達している。

# 私立大学 国庫助成問題について

我が国の教育は、戦後、急速な発展を遂げ、今日、私立大学は、その中心をなしている。この間、国庫助成を求め、研究教育体制の充実が、重要な課題となってきた。経済的、教育的、社会的観点から、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。この間、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。



保田 芳昭

## 教育研究の充実 発展のために 私学助成の促進を

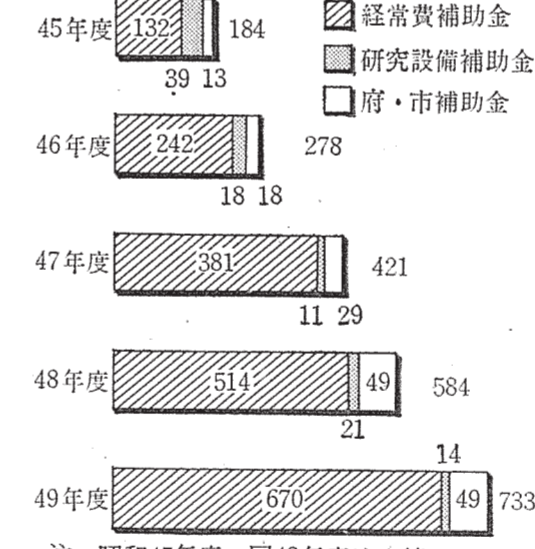
私学助成の促進は、教育研究の充実と、発展のために、重要な課題となっている。国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。この間、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。

### 私学助成の現状

田中一郎

私学助成の現状は、昭和45年度～同48年度は実績、同49年度は予算額である。国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。この間、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。

#### 本法人の補助金収入の推移



注：昭和45年度～同48年度は実績、同49年度は予算額

### 名目と実質に格差

一人当たり助成金  
私立は4万、国立は117万

私立大学の一人当たり助成金は、国立大学の約1/29に過ぎない。この格差は、教育研究の充実と、発展のために、重要な課題となっている。国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。この間、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。

### キヤンパス情報

#### 教授陣容充実される

- 昭和四十九年度の新学期に当たり、四月一日付、次のとおり、人事異動が行われ、研究教育体制の充実がはげられた。
- ▲法学部
    - 教授 鶴城 真樹(等)
    - 助教授 藤田 昭(等)
    - 助教授 藤田 昭(等)
    - 助教授 藤田 昭(等)
    - 助教授 藤田 昭(等)
    - 助教授 藤田 昭(等)
    - 助教授 藤田 昭(等)
    - 助教授 藤田 昭(等)
  - ▲文学部
    - 教授 加藤 雅(公学)
    - 助教授 竹内 昭(等)
    - 助教授 宇佐 雅(等)
    - 助教授 宇佐 雅(等)
    - 助教授 宇佐 雅(等)
    - 助教授 宇佐 雅(等)
    - 助教授 宇佐 雅(等)
    - 助教授 宇佐 雅(等)
  - ▲経済学部
    - 教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
  - ▲商学部
    - 教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
    - 助教授 木下 敏(等)
  - ▲社会学部
    - 教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
  - ▲大学院
    - 教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
  - ▲学生部
    - 教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
  - ▲研究所
    - 教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)
    - 助教授 大城 博(等)



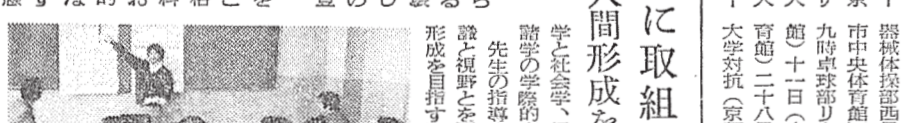
友の像 (2)

#### 友の像 (2)

友の像 (2) は、学生生活の充実と、発展のために、重要な課題となっている。国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。この間、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。

#### 水資源問題に取組む

水資源問題に取組む。水資源の確保は、教育研究の充実と、発展のために、重要な課題となっている。国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。この間、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。



ゼミ訪問

#### ゼミ訪問

ゼミ訪問。ゼミ活動は、教育研究の充実と、発展のために、重要な課題となっている。国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。この間、国庫助成の促進を、政府は、積極的に進めようとしている。その結果、私立大学の研究教育体制の充実が、著しく進んでいる。

